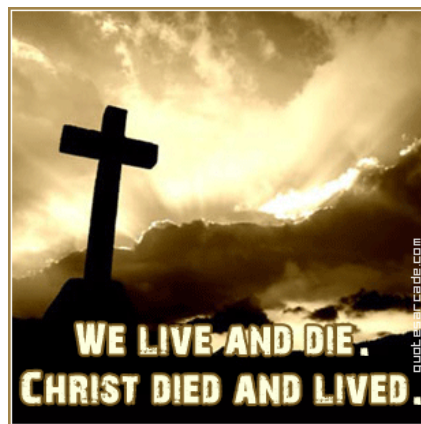


UMC-Japanese Ministry
11 Highgate Terrace
Bergenfield, NJ 07621 USA

新サーキットライダー2011年3、4月号



United Methodist Church - Japanese American Ministry

合同メソジスト教会日本語ミニストリー

c/o The Church of The Good Shepherd, 326 New Bridge Road, Bergenfield, NJ 07656

Pastor Jun Yoshimatsu 牧師：吉松 純

Church: (201) 385-4100 Homepage: www.umc-japan.org

UMC日本語ミニストーリー 受難週集会、復活祭の案内

婦人たちは、安息日（金曜日日暮れから土曜日日暮れまで）には掬にしたがって休んだ。そして、週の初めの日の明け方早く、準備しておいた香料を持って墓に行った。見ると、石が墓のわきに転がしてあり、中に入っても、主イエスの遺体が見当たらなかった。そのため途方に暮れていると、輝く衣を着た二人の人がそばに現れた。婦人たちが恐れて地に顔を伏せると、二人は言った。「なぜ、生きているお方を死者の中に捜すのか。あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。まだガリラヤにおられたころ、お話になったことを思い出さない。人の子は必ず、罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活することになっている、と言われたではないか。」（ルカによる福音書24：1-7）。

2011年 受難週、復活祭礼拝スケジュール

- 4月21日、聖木曜日礼拝（英語）：午後7時より。最後の晚餐に因み、過ぎ越しの食事を頂き、足洗式、聖餐式礼拝を守ります。
- 4月22日、聖金曜日、テネブレイ（ろうそく消灯）礼拝（英語）：午後7時30分。
- 4月24日、復活祭礼拝：
1. Sunrise Service（早天礼拝）、クーパーズ・ポンド（South Prospect Ave & West Church Street）にて他教会と合同・午前6時30分（英語）。
 2. 英語礼拝・午前10時。Jr.教会の子供とユースのハンドベル演奏。礼拝後、昼食、祝会
 3. 日本語・午後3時より。Jr.教会は祝会の準備。日本語礼拝後、牧師館にて祝会（持ち寄り）

* 献金袋を同封致しました。献金は東日本大震災被災者救援、日本語伝道、子供達のプログラム、ニュースレター等にあてられます。御協力頂ければ幸いです。

チェックのあて先は**UMC-JA**とし、献金の指定があれば**Note**にご記入下さい。

復活：苦難の中での希望

全ての民よ喜べ、主イエスは死に勝ちませば、
陰府のちから、早失せて、人の命限りなし。

明日をも知らぬ世に住み、涙の谷たどる身の、
悲しみも悩みも消え、今は喜びにあるふ。

主は栄光の御座につき、御使いらは褒め歌う、
「主イエス死に勝ちたまえば、人は生くる、永
遠（とこしえ）に」。

（全ての民よ、喜べ 讚美歌 21、327番）

今年のレント（受難節）は母国日本の悲惨なニュースと共に始まりました。気象庁始まって以来最大のマグニチュード9.0という大地震が東北太平洋側で起こり、追い討ちをかけるように10メートルを超える津波が宮城、岩手、福島、青森、そして茨城や千葉など関東の海岸線沿いの市町村を襲い、壊滅的被害を与えました。津波が家々を押し潰し、車を流し、漁船を海岸線から陸地に押し上げ破壊しつくしていった光景をニュースで何度も目にし、またその後の余りにも無残な町々の姿に言葉を失った方も多いと思います。

命からがら逃げ延び避難所生活をした人が一時は38万人に達し、その後帰宅した方もいられるようですが、地震、津波から1ヶ月経った4月上旬現在も30万人以上の方が被災者として避難所生活をしている報道に心が痛みます。津波で家が壊されて住む所を失ったのみならず、親を亡くした子供たち、愛する家族や友人を失った人たちなど、ニュースを見ているだけで涙ぐんできます。

どうしてこのような悲劇が起こるのか？その日その日を懸命に生きていた人たちの命が何故突然奪われなければならないのか？祈っても祈っても答えは出ません。いくら地球の層、プレートの歪が地震を引き起こすと科学的な説明を言われても納得できない。「神様どうしてですか？」と憤りを覚えるのは私ばかりではないと思います。

私たち人間は自然の前に余りにも無力です。しかしともするとそのことを忘れてしまい、更なる悲劇を引き起こしてしまいます。福島第一原子力発電所の地震津、波被害による放射能漏洩は明らかに天災ではなく人災です。私も今回の

人智を超えた地震津波により原発がこうも無残に破壊されるまで、原子力発電は安全なのかもしれない・・・と思っていました。しかし人間の成せる業に完璧、絶対は有り得ない。原発安全神話は完全に人間の驕りであったと思いました。

今、多くの方が放射能漏洩の恐怖の中で日々暮らしています。また嚴重立ち入り禁止区になり、自分の町、自分の教会に戻れない方たちが何万もいます。第一回東部日本語教会合同ファミリー・キャンプのゲスト・スピーカーだった佐藤彰牧師と福島第一バプテスト教会（会員数300名以上）もその数に入っています。佐藤先生や教会員は今後も町に戻れるかどうか・・・。

人は誰でも茨の道を歩みたくありません。諸々の不幸を背負って生きたくありません。病気になるったり事故に遭って苦痛を受けたり、不自由な思いをしたくない。私たちはそれらを恐れます。それはそれらの苦しみ、悲しみが死に通じているからです。死は誰も避けられない。本来、死は全ての喪失を意味しました。自分の命、この世での喜びを失うこと。愛する人たちとの別れ。そして自分の世界が無に帰する。今ある物が全て無くなってしまう。それが死です。

しかしイエスは敢えて自ら茨の道を歩み、痛みを負い、十字架に架けられ死んでいかれました。もし、そこ（十字架の死）で終わっていたら「神様、何故？」という私たちに何の希望も解決も与えられなかったでしょう。しかし主イエスは蘇られた。死が全ての終わり、無ではないことを身を持って教えて下さいました。神の前には死は無力であり何ら恐れることはない、永遠の命への通過点に過ぎないと。映画「おくりびと」の言葉を借りるなら、死は神の国へ行く「門」です。

だから今どれほど辛く苦しくても、悲しくても、何事をも恐れなくて生きていける。また生きなければならない。

復活は私たちに悲しみ、悩み、苦しみ、そして死をも乗り越える希望を与えてくれます。絶望にある人たちにも希望を与えてくれる、と私は信じています。今、艱難にある東北の同胞たちの復興を心から祈りつつ、復活祭を迎えたいと

思います。

Happy Easter!

吉松 純

礼拝予定：

- 3月
6日 聖書の学び、礼拝、正餐式、Jr. 教会、ひな祭り
9日 Ash Wednesday「灰の水曜日」礼拝（英語）午後7時30分
13日 聖書の学び、礼拝、Jr. 教会、レントの意味
20日 聖書の学び、礼拝、Jr. 教会、レント2
27日 聖書の学び、礼拝、Jr. 教会、ミツワにて被災者支援ベークセール
4月
3日 聖書の学び、礼拝、聖餐式、Jr. 教会、切手、ハンドベル練習
10日 聖書の学び、礼拝、Jr. 教会、お見舞いカード作成、ハンドベル練習
17日 聖書の学び、棕櫚の聖日礼拝、Jr. 教会、棕櫚の工作、ハンドベル練習
24日 聖書の学び、復活祭礼拝、ハンドベル演奏、Jr. 教会復活祭祝会の準備、礼拝後、持ち寄り食事会、祝会
5月
1日 Crop Walk参加、礼拝、聖餐式、Jr. 教会、子供の日クッキング
8日 聖書の学び、礼拝、花壇作りI
15日 聖書の学び、礼拝、花壇作りII
22日 聖書の学び、礼拝、花壇作りIII
26日 聖書の学び、礼拝、TBA

お知らせ：

*吉松牧師の勉強休暇中、以下の先生方に説教を取り次いでいただきました。感謝いたします。鈴木譲牧師、相良昌彦牧師、立石尚志牧師、石倉久美子姉（UMC信徒伝道者）

*毎週日曜日、聖書の学びがあります。礼拝前の午後1時45分から1時間、聖書を分かりやすく解説し、話し合いの時を持ちます。高校生、大学生を対象としていますが、どなたも歓迎いたします。学びの箇所は出エジプト記です。

*レント=受難節中、毎週木曜日午後7時にパンとスープの夕食と聖書の学び（英語）があります。心に残る学び、ディスカッションをしています。どうぞお出かけ下さい。

*4月21日、足洗の木曜日、最後の晩餐と礼拝（英語）が午後7時よりあります。過ぎ越しの食事をし、イエスがされたように足を洗う、という礼拝をします。どうぞご参加下さい。

*4月22日、聖金曜日礼拝（英語）。午後7時30分より。

*4月24日午前6時30分、エキュメニカル復活祭早朝礼拝（英語）がバーゲンフィールドのクーパーズ・ポンドであります。カトリック教会や改革派、長老派などの諸教会と合同の礼拝です。どうぞご参加下さい。今年の献金は震災被災者へ送られます。

*4月24日、復活祭礼拝と祝会。主の復活をお祝いし礼拝後、牧師館にて持ち寄りの会食をし交わりお祝いをします。どうぞ皆様一品お持ちより下さい。

お祈りと献金の御協力をお願いします。チェックのあて先はUMC-JAとし、どのプログラムに献金したいか明記してお送り下さい。

*自然災害被害者の為、特に東日本大震災の被災者の為

*サマーキャンプの為。パンフレットを同封しました。近所のお子さんに差し上げて下さい。

*来年2012年に開かれる第4回東部日本語教会合同ファミリーキャンプの為

*ハーベスト・タイムのミッションの為

*消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOC S）に送ります。

JOC S海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

*ケニヤの恵まれない子供達やエイズの患者さんの為に特別献金をしています。

*パターソンのSt. Philip 伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達のための炊き出しと路傍伝道をしています。

感謝

*去る3月27日（日）午後4時30分から1時間、Jr. 教会の子供たちとお母さん達、有志がミツワ・スーパーマーケット前で被災者救援ベークセールをし、募金も含め409ドル頂きました。感謝いたします。

*ベークセールに加え、多くの方から被災者救援献金を頂き、4月9日現在の合計額が2429ドルになりました。この義援献金はUnited Methodist Committee on Relief (UMCOR)を通して日本に送られます。日本基督教団や関係団体を通して被災者に送られます。

*これからも中、長期での支援をしたいと思えます。救援献金をお願いします。次回は被災した教会に直接送る予定です。

教会の住所：

UMC-Japanese Ministry

The Church of the Good Shepherd, UMC.

326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス(201) 385-4100

ホームページ：<http://www.umc-japan.org>

English Website: www.cgs-umc.org
牧師館：(201) 338-2744
吉松牧師 jun.yoshimatsu@gmail.com
教会学校担当：吉松 泉姉
izumi.yoshimatsu@gmail.com